

ミナト神戸で源泉かけ流しの湯にほっこり。神戸港の新港第1突堤で17日、ホテル「神戸みなと温泉 蓮」がオープンする。温泉は日帰り利用もでき、運営会社は「一度来てもらえれば、必ず気に入ってもらえる自信がある。新たな神戸ファンを獲得することで、地域経済の起爆剤にしたい」と意気込んでいる。

(森安徹)

週刊経済

揺れる水面の向こうに、ポートタワーや神戸海洋博物館、遊覧船……。ホテル西側のテラスに足を踏み入れると、夜空に映える神戸港のシンボルが眼前に広がる。ホテル担当者は「地元の人でも、この角度の夜景は見たことが

お湯と夜景 心ほっこり

神戸みなと温泉 蓮 神戸市



海に囲まれた立地が売りの「神戸みなと温泉 蓮」（神戸市中央区で）

ないでしょう。最上階のバーに行けば、眺めだけのお酒が進みますよ」とアピールする。中突堤近くにもホテルを構

える「ラスイート」（本社・大阪市天王寺区）が経営。2012年に第1突堤の再開発を目指す神戸市の公募に応

じ、審査を通過して選ばれた。約2万7500平方メートルを市から賃借し、総事業費約75億円でホテル棟（10階建て）とコンベンション棟（2階建て）を建設した。

景色に加え、施設の目玉が天然温泉だ。公募前の調査で湧出の可能性が高いとわかり、実際に昨年1月、掘削に成功。地下1150メートルから毎分320リットル、40度近い湯が湧き出た。1階大浴場やスイートルーム（12室）では、源泉かけ流しで提供する。

ホテル棟は全90の客室が畳敷きスペースとベッドがある和洋室で、テラスから海を望める。最上階に露天風呂があるほか、1〜3階の大浴場やプール、岩盤浴は宿泊者以外も利用できる。

国際会議や結婚式ができるコンベンション棟「ラ・スイ

ート神戸オーシャンズガーデン」は、三方向を海に囲まれた立地が売り。最南端のチャペルは南側がガラス張りです。すでに約180組のカップルが挙式を予約しているという。

宿泊は小学生以上に限定。同社企画広報営業部の矢崎達則さん(33)は「大人がゆっくりくつろげる空間にするため、思い切った。周辺の緑地整備も進み、散歩やデートなど神戸の人たちも気軽に訪れる場所になりたい」と話している。

宿泊は平日4人で、1人1泊2食付き1万5500円（税別）から。温泉の日帰り利用は午前10時〜翌日午前0時で、平日2300円（同）、土日・祝日2700円（同）。問い合わせは同ホテル（078・381・7000）。